

訪問介護事業 第1号訪問事業

(横浜市訪問介護相当サービス)

(横浜市訪問型生活援助サービス)

運営規程

アームス在宅支援センター

(事業目的)

第1条 株式会社ARM'Sが開設するアームス在宅支援センター(以下「事業所」という。)が行う訪問介護事業及び第1号訪問事業(横浜市訪問介護相当サービス・横浜市訪問型生活援助サービス)(以下、「事業」という。)の適正な運営を確保するために人員及び管理運営に関する事項を定め、要介護者、要支援者又は事業対象者(以下、「要介護者等」という。)に対し、事業所の介護福祉士、訪問介護員研修の修了者等(以下、「訪問介護員等」という。)及び一定の研修を修了した従事者等(第1号訪問事業(横浜市訪問型生活援助サービス)に限る。以下「従事者等」という。)が、利用者の居宅において入浴、排泄、食事の介護、その他の生活全般にわたる世話又は支援等の適切な訪問介護及び第1号訪問事業(横浜市訪問介護相当サービス)(以下「訪問介護等」という。)及び第1号訪問事業(横浜市訪問型生活援助サービス)を提供することを目的とする。

(運営方針)

第2条 事業の実施に当たっては、要介護者等となった場合においても、心身の特性を踏まえて、利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排せつ、食事の介護その他の生活全般にわたる世話又は支援を行うことにより、利用者の心身機能の維持回復を図り、もって利用者の生活機能の維持又は向上を目指す。また、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努める。

2. 事業の実施に当たっては、地域との結び付きを重視し、関係市町村、地域の保健・医療・福祉サービス、地域包括支援センターや住民による自発的な活動によるサービスを含めた地域における様々な取組を行う者等との綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めるものとする。

3. 事業の実施に当たっては、自らその提供するサービスの質の評価を行い、常にその改善を図る

(事業所の名称等)

第3条 事業を行う事業所の名称及び所在地は、次のとおりとする。

- 1 名称 アームス在宅支援センター
- 2 所在地 横浜市瀬谷区相沢6丁目25番地5

(職員の職種、員数、及び職務内容)

第4条 事業所に勤務する職種、員数、及び業務内容は次のとおりとする。

- 1 管理者 1名(常勤兼務)
管理者は、事業所の従業員の管理及び業務の管理を一元的に行う。
- 2 サービス提供責任者 3名
サービス提供責任者は事業所に対する訪問介護等及び第1号訪問事業(横浜市訪問型生活援助サービス)の利用の申込みに係る調整、訪問介護員等及び従事者等

に対する技術指導、訪問介護計画、第1号訪問事業（横浜市訪問介護相当サービス）計画書及び第1号訪問事業（横浜市訪問型生活援助サービス）計画書（以下、「訪問介護計画等」という。）の作成等を行う。

3 訪問介護員等

訪問介護員等（サービス提供責任者を含む）は訪問介護等の提供にあたる。

訪問介護員等	常勤（人）	非常勤（人）
専従		
兼務	2	10

4 従事者等

従事者等（サービス提供責任者を含む）

従事者等は第1号訪問事業（横浜市訪問型生活援助サービス）の提供に当たる。

訪問介護員等	常勤（人）	非常勤（人）
専従		
兼務	2	10

（営業日及び営業時間）

第5条 事業所の営業日及び営業時間は、次のとおり。

- 1 営業日 月曜日から金曜日とする（土日祝日休業）。
12月29日から翌年1月3日は休業とする。
- 2 営業時間 午前9時から午後5時までとする。
サービス提供時間は、月～日（祝日含む）24時間とする。
- 3 電話等により、24時間常時連絡が可能な体制とする。

（訪問介護等及び第1号訪問事業（横浜市訪問型生活援助サービス）の内容及び提供方法）

第6条 訪問介護等の内容は次のとおりとする。

- 1 身体介護
 - 2 生活援助
 - 3 通院等乗降介助
- 2 第1号訪問事業（横浜市訪問型生活援助サービス）の内容は次のとおりとする。
- 1 身体介護
 - 2 生活援助

3 訪問介護等及び第1号訪問事業（横浜市訪問型生活援助サービス）の提供方法は、次の通りとする。

一 事業所は、訪問介護等及び第1号訪問事業（横浜市訪問型生活援助サービス）の提供の開始に際し、あらかじめ、利用申込者又はその家族に対し、運営規程の概要、従業者の勤務体制その他の利用申込者のサービスに資すると認められる重要事項を記した文書を交付して説明を行い、当該提供の開始について利用申込者の同意を得ることとする。また、説明においては、懇切丁寧に行うことを旨とし、利用者又はその家族に対して理解しやすいように説明を行う。

二 サービス提供責任者は、利用者の日常生活全般の状況及び希望を踏まえて、訪問介護等及び第1号訪問事業（横浜市訪問型生活援助サービス）の目標、当該目標を達成するための具体的なサービスの内容等を記載した訪問介護計画等を作成する。

三 前号の訪問介護計画等において、既に居宅サービス計画又は介護予防サービス・支援計画（以下、「居宅サービス計画等」という）が作成されている場合には、当該計画に沿った訪問介護計画等を作成する。

四 サービス提供責任者は訪問介護計画等を作成した際には、利用者又はその家族にその内容を説明し、文書により同意を受け、交付する。

五 事業所は、サービスの提供に当たっては、介護技術の進歩に対応し、適切な介護技術をもってサービスの提供を行う。

六 常に利用者の心身の状況、その置かれている環境等の適切な把握に努め、利用者又はその家族に対し、適切な相談及び助言を行う。

七 事業所は、サービスの提供に当たっては、利用者に係る居宅介護支援事業者、介護予防支援事業者又は地域包括支援センターが開催するサービス担当者会議等を通じて、利用者の心身の状況、その置かれている環境、他の保健医療サービス又は福祉サービスの利用状況等の把握に努める。

八 居宅サービス計画等、サービス担当者会議等の記録その他の訪問介護等及び第1号訪問事業（横浜市訪問型生活援助サービス）の提供に関する記録の保管方法については、利用者の人権やプライバシー保護の為、施錠できる書庫に整理保管する。

九 居宅サービス計画等の作成後においても、当該訪問介護計画等の実施状況の把握を行い、必要に応じて当該訪問介護計画等の変更を行う。

（通常業務の実施地域）

第7条 通常業務の実施地域は、横浜市全域及び大和市とする。

（利用料等）

第8条 訪問介護等及び第1号訪問事業（横浜市訪問型生活援助サービス）を提供した場合の利用料の額は厚生労働大臣又は横浜市長が定める基準によるものとし、当該訪問介護等及び第1号訪問事業（横浜市訪問型生活援助サービス）が法定代理受領サービスであるときは、その1割又は2割の額とし、詳細は料金表のとおりとする。

2 第7条の通常の事業の実施地域を越えて行う訪問介護等に要した交通費は、通常の事業の実施地域を越えてからの実費を徴収する。なお、自動車を使用した場合の交通費は、次の額を徴収する。

- 1 通常の事業の実施地域を越えてから、片道概ね1km未満100円
- 2 通常の事業の実施地域を越えてから、片道概ね1km以上200円
- 3 前項の費用の支払を受ける場合には、利用者又はその家族に対して事前に文書で説明をした上で、支払に同意する旨の文書に署名（記名押印）を受けけることとする。
- 4 利用料等の支払いを受けたときは、利用料とその他の利用料（個別の費用ごとの区分）について記載した領収書を交付する。
- 5 法定代理受領サービスに該当しない事業に係る利用料の支払いを受けた場合は、提供した事業の内容、費用の額その他必要と認められる事項を記載したサービス提供証明書を利用者に対して交付する。

（緊急時等における対応方法）

第9条 訪問介護員等及び従事者等は訪問介護等及び第1号訪問事業（横浜市訪問型生活援助サービス）を実施中に、利用者の病状に急変、その他緊急事態が生じたときは速やかに主治医に連絡する等の措置を講ずるとともに、管理者に報告する。主治医への連絡が困難な場合は、緊急搬送等の必要な措置を講ずる。

2 事業所は、利用者に事故が発生した場合には、速やかに市町村、利用者の家族、利用者に係る居宅介護支援事業者等に連絡を行うとともに、必要な措置を講ずる。

3 利用者に対するサービスの提供により、賠償すべき事故が発生した場合には、損害賠償を速やかに行う。

（苦情に対する対応方針）

第10条 事業所は、提供したサービスに係る利用者からの苦情に迅速かつ適切に対応する。

2 事業所は、提供したサービスに関し、介護保険法の規定により市町村が行う文書その他の物件の提出若しくは提示の求め又は当該市町村の職員からの質問若しくは照会に応じ、及び利用者からの苦情に関して市町村が行う調査に協力するとともに、市町村から指導又は助言を受けた場合においては、当該指導又は助言に従って行う。

（個人情報の保護）

第11条 利用者又はその家族の個人情報について「個人情報の保護に関する法律」及び厚生労働省が作成した「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン」を遵守し適切な取扱いに努めるものとする。

2 事業所が得た利用者又はその家族の個人情報については、事業所での介護サービスの提供以外の目的では原則的に利用しないものとし、外部への情報提供については必要に応じて利用者又はその家族の同意を得るものとする。

(事業運営の透明性の確保)

第12条 事業所は、利用者の求めに応じて事業計画及び財務内容の閲覧に供する。

(その他運営についての留意事項)

第13条 事業所は、従事者の質的向上を図るための研修の機会を次のとおり設けるものとし、また業務態勢を整備する。

- 1 採用時研修 採用後1ヶ月以内
- 2 継続研修 年4回
- 2 従業者は業務上知りえた利用者又はその家族の秘密を保持する。
- 3 従業者であった者に、業務上知りえた利用者又はその家族の秘密を保持させるため、従業者でなくなった後においてもこれらの秘密を保持すべき旨を、従業者との雇用契約の内容とする。
- 4 事業所は、訪問介護等及び第1号訪問事業（横浜市訪問型生活援助サービス）の提供に関する記録を整備し、保管する。
- 5 この規程に定める事項の外、運営に関する重要事項は株式会社ARM'Sと事業所の管理者との協議に基づいて定めるものとする

附則 規程は、平成30年4月1日から実施する。